

【視察概要③】

①一般社団法人最下位港観光協会

- (1) 視察日時 8月18日(木)
- (2) 視察場所 境西地区学習等供用施設、水木しげるロード
- (3) 視察内容 『水木しげるロードについて』
- (4) 対応者 境港観光協会 主事 西垣俊一様

②視察内容

松江市 発達・教育相談支援センター 所長 山本務様 挨拶
政友クラブ 副代表 長沼達也議員 挨拶

・水木しげるについて

観光案内図は日本語版、英語版など多言語複数がある。

・水木しげるロードについて

1993年にできた。もともと商店街。郊外型のショッピングセンターなどの影響で商店街が下火になってしまい、活性化が課題だった。

検討した結果、ブロンズ像を置くことにした。著作権は水木先生ご健在のころクリアした。お化けの像なので、地元商店街は乗り気ではなかった。最初は一部のエリア 23 体。物珍しさから人が来るようになった。その後少しずつ広がって 800m となった。

2003年に4億円かけて水木しげる記念館を建てた。

民間から観光協会会長を招聘。寄付をしてくれた方にはブロンズ像の下に名前を入れられる。177体の内58体は寄付で作った。6800万円集まった。

2010年にはNHK「ゲゲゲの女房」の効果があり来客数が伸びた。

来客数が落ちてきたときにしたこと

道路を一方通行にした。四季を感じられる木を植えた。毎日日没から朝まで影絵をした。土曜夜市を復活。お盆とハロウィーンに仮想して練り歩く。市が運営している循環バスに記念イベントの実施。水木しげる生誕祭。

ブロンズ像は子どもの手に収まるサイズ、子どもの目の高さにある。ブロンズ像の盗難もメディアで取り上げられ話題になった。

2019年には直接消費は275億円になった。

・コロナ禍で実施したこと

新しい影絵。米子出身キャスターがPR、中国向けにANAのグループ会社ACDに地元の商品をPR。中国ではヤフーやGoogleなどは見れないので、ACDのサイトでライブ配信をした。コロナ禍1年目は全然いなかった、2年目は増えた。3年目は倍になった。境港はクルーズ客船が来るが、今2回しか来ていない。今後を期待する。

その他、境港の直売センターのリニューアルをした。市場もきれいにした。妖怪川柳コン

テストの実施。

・その他

インバウンドは1割未満の比率との事。

宿泊率は良くなく、陸路で温泉地に行くことが多い。ホテルを誘致した。

夏の観光客が多い。1月は蟹。2月6月は少ない。

お礼の言葉 政友クラブ 末木咲子議員



【視察概要④】

①鳥取県境港水産事務所

- (1) 視察日時 8月19日(金)
- (2) 視察場所 鳥取県境港水産事務所
- (3) 視察内容 『鳥取県営境港水産物地方卸売市場について』
- (4) 対応者 鳥取県境港水産事務所 寺田ルミ 所長

③ 視察内容

鳥取県境港水産事務所 所長 寺田ルミ様 挨拶
政友クラブ 副代表 長沼達也議員 挨拶

・境港地区高度衛星管理型漁港、市場整備の概要

鳥取県西部の弓浜半島、西は宍道湖に接続する汽水域の中海。境漁港の強みは目の前が日本海有数の優良漁場、島根半島が防波堤となり天然の良港、漁港の周辺に水産加工場が多くある。重要港湾を有する道路、労働力が揃っている

卸売人、島根県漁協、JFしまね、境港漁市場、仲卸人71社
5年連続水揚げ日本一(H4年からH8まで)

・高度衛星管理型漁港.市場整備に向けたこれまでの経緯

平成23年 さかいみなど漁港.市場活性化協議会設立

平成26年 高度衛星管理基本計画

令和4年 特定漁港場整備事業計画

陸上エリアを設定した。搬入、搬出エリア、清浄海水使用、
第7.8デッキを工事中。

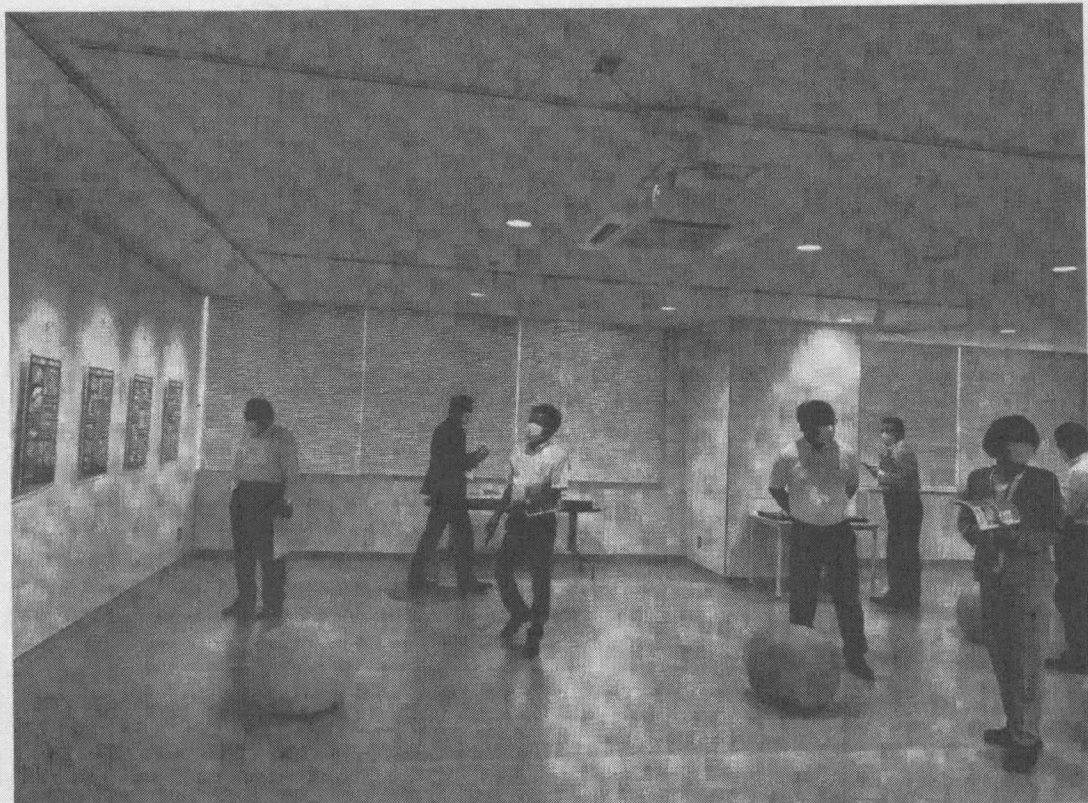
社会に信頼され 活力があり 親しまれる漁港、市場

境港おさかなパーク、無料施設、有料施設、調理実習、お魚学習室、研修室がある。

・その他

総工費46億円、補助率3分の2。

電気代の高騰については電気代が上がりましたがまだ実績が出てこない状態。



【視察概要⑤】

①島根県出雲市

- (1) 視察日時 8月19日(金)
- (2) 視察場所 出雲市役所 6階 出雲市議会 議会委員室
- (3) 視察内容 『出雲市自治会等応援条例について』

②視察内容

出雲市議会 議長 萬代輝正様 挨拶
政友クラブ 副代表 長沼達也議員 挨拶

・調査項目1「自治会等応援条例について」

自治会応援条例を制定した経緯

・「出雲市自治会等応援条例」制定までの取組

議員有志4人による先進地である所沢市を視察、自民協議会自治会等応援条例検討委員会で条例骨子を検討・決定・報告・承認をした。その後関係団体との意見交換、条例案策定として議会と自治会連合会、商工会関係、JA、宅建センターで意見交換会を開催した。条例案の提案から可決までについては、議会に条例案を上程し総務常任委員会に付託。総務常任委員会で審査。賛成全員で可決、議会にて賛成全員で可決。

・出雲市自治会等応援条例検討結果報告書

出雲市自治会等応援条例(平成27年3月5日議員提案議案)

出雲市の住民自治組織について、自治会加入状況についての説明。(持ち家のみの自治会加入率は70%となっている。)

・加入促進の取組状況について

町内会(自治会)加入促進検討委員会で意見交換を実施。自治会加入促進啓発チラシの活用、「大好きいずも・ふるさと情報コーナー」の開設、民間事業者との連携(出雲宅建センターと行政懇談会に参加、チラシ配布等による加入促進を依頼)、広報いずもへの掲載、各種会議での意見交換、分譲住宅地を対象とした加入促進活動の実施、自治会加入促進啓発DVDの作成。

・自治会活動に対する支援制度について

地域コミュニティづくり支援事業(パンフレット作製、啓発グッズエコバック作製、横断幕作製)、元気!やる気!地域応援補助金の実施。

・自治会支援アドバイザー事業について

モデル地区を3地区設定して課題を洗い出し、その解決策を専門家からアドバイスを受ける。専門家とは自治振興課を通じてメールや電話で随時情報提供や助言を受けることができる。市からの依頼業務も検討していく必要がある。

・その他

不動産関係団体との連携は実施しているが効果は難しい状況である。

支援金の効果は広められるようにしていきたい。

アドバイザーの費用は3地区で130万円程度。現地に來るのは3回。1回はリモート。

1年間での効果は難しいので2年での事業を考えている。

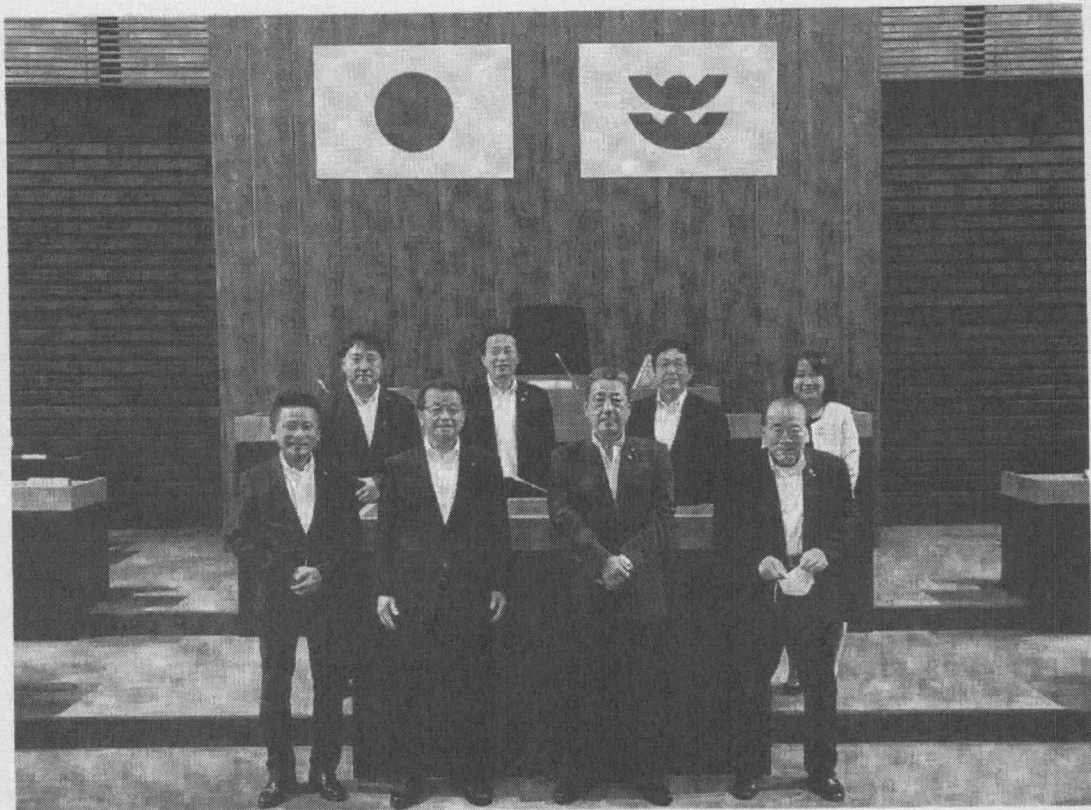
山梨学院大学のひだかあきお教授が詳しい。

DVDの「新しい人や若者が参加しない理由」の内容は自治会の内容がわからない。知らない。めんどろ。役がまわってくるのがいやだ。

コミュニティセンターとは。役割は公民館機能、各地域の自治協会の支援。各コミュニティセンターには職員が4名から7名いる。市から運営協議会に委託している。

自治振興課とは総合政策部内に自治振興係と中間地域振興室がある。

お礼の言葉 政友クラブ 末木咲子議員





以上